

「平成30年7月豪雨」被災団体対象
伊予銀行地域文化活動助成制度
(特別募集)
助成応募要領

～地域文化の復興をお手伝い～

伊予銀行は、社会貢献で
潤いと活力ある地域の明日を創ります

2018年8月



「平成30年7月豪雨」被災団体対象 地域文化活動助成制度(特別募集)のご案内

◆ 趣 旨

本制度は、地域文化の発展と向上のため、愛媛県内で歴史的重要性や伝統性等に優れた「草の根的」な文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

通常、年2回募集を行っておりますが、このたびの「平成30年7月豪雨」にて被災された先を対象に、以下の要領で、紛失・破損した物品類の新調や修繕等を支援させていただきます。

郷土芸能をはじめ、各地に根付いた文化活動は地域の誇りであり、人々を結びつけ、コミュニティ再生の要ともなるものです。多様な地域文化を途絶えさせないためにも、当行がそのお手伝いをできればと願っております。

◆ 応募方法

後掲の「地域文化活動助成申請書」にご記入の上、最寄りの伊予銀行の支店窓口にお申込みいただきます。なお、応募にあたっては、お取引の有無は一切関係ありません。

◆ 助成対象 被災した物品の新調・修繕など、活動再開に係る費用

◆ 申請金額 1団体 50万円まで

◆ 応募期間 2018年8月1日(水)～

◆ スケジュール

| | |
|--------------|--|
| ①申請書類提出 | 最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。 |
| ②書類審査 | 支店長推薦を経て担当部で書類審査いたします。要件に満たない場合は、お断りすることもありますので、ご了承ください。 |
| ③面談・ヒアリング | 活動や被災状況に関して詳細をヒアリングさせていただきます。 |
| ④審査・助成決定 | 文化振興顧問団委員からのご助言を元に、事務局にて審査を行います。助成金額は、被害状況や活動実績等により決定されます。 |
| ⑤選考通知・助成金の贈呈 | 選考結果・助成金の贈呈方法については、各推薦店を通じてお知らせします。 |
| ⑥活動報告書の提出 | 物品の購入・修繕等が完了した後、報告書をご提出いただきます。 |

◆ 「伊予銀行文化振興顧問団委員」のメンバーについて

愛媛県内の有識者からなる「伊予銀行文化振興顧問団」を編成し、当行の文化助成事業全般にわたってご助言・ご提言を頂いております。

| 氏 名 | 現 職 |
|---------|------------------------------|
| 竹田 美喜 氏 | 松山市立子規記念博物館総 総館長 |
| 森 正康 氏 | 愛媛県文化財保護審議会 会長(松山東雲短期大学名誉教授) |
| 大本 敬久 氏 | 日本民俗学会 会員 |
| 胡 光 氏 | 愛媛大学法文学部 教授 |

◆助成要件

1. 愛媛県内で活動する団体・グループで、原則10年以上の活動実績を有し、
「平成30年7月豪雨」にて被災した先。
2. 地域に密着した住民参加型「草の根」文化を伝承していること。
3. 次の基準項目に照らして総合的に優れた特性を有していること。
【歴史的重要性】【伝統性】【芸術性】【成長性】【独創性】【公共性】【継続性】
4. 次の事項に該当しないこと。
 - (1) 個人的趣味・稽古事の延長である。
 - (2) 営利を目的としている。
 - (3) 行政またはそれに類似する団体等が主体となって進める事業。
 - (4) 特定の宗教・思想・政治団体等との関連がある。
 - (5) 反社会的勢力等との関連がある。
 - (6) ボランティア・福祉的色彩が強い。(NPO団体も含む)
 - (7) 規約・活動計画等の組織的態勢を有していない。

◆ 具体的活動事例

| 分野 | 具体的活動事例 |
|------|------------------------------------|
| 音楽 | コーラス・声楽・器楽・邦楽 等 |
| 美術 | 絵画・写真・彫刻・陶芸 等 |
| 演劇 | 演劇・ミュージカル・人形劇 等 |
| 文芸 | 俳句・短歌・川柳・現代詩・文人顕彰 等 |
| 郷土芸能 | 獅子舞・鹿踊り・牛鬼・伝承踊り・文楽・神楽 等 |
| 創作芸能 | 創作太鼓・創作民謡・現代舞踊 等 |
| 郷土史 | 郷土史・民俗学・文化財の調査研究 等 |
| 国際交流 | 国際交流活動 等 |
| 生活文化 | 習俗伝承・創作事業・児童育成(読み聞かせ等)・演劇招聘・里山整備 等 |
| 自然科学 | 動植物の調査保護研究 等 |

◆ その他 注意事項

1. 原則として1団体（グループ）につき1回限りとします。
2. 通常の募集では「過去に本制度を受けた団体は、前回の助成から10年以上経過していること」が申請要件となっていますが、今回は経過年数に関わらずご申請いただけます。
(前回助成から10年未満でも申請可)
3. 本特別募集枠をご利用された場合、次回のご申請は10年経過後からとなります。

申請要件チェックリスト

本制度の趣旨に適っているかどうかのご判断について、下記チェックリストをご参照ください。

| | | |
|----|--|--------|
| 1 | 団体あるいはグループとして複数人数で活動している。 | YES・NO |
| 2 | 10年以上 [*] 、地域に根ざした文化活動を継続的に運営し、活発に活動している。 | YES・NO |
| 3 | 趣味やお稽古事の延長ではなく、レクリエーションの範囲を超えた文化活動を行っている。 | YES・NO |
| 4 | ボランティアや福祉、地域おこしイベントに特化せず、文化的な性質を持った活動を行っている。 | YES・NO |
| 5 | 営利を目的とした活動や、個人的な利益に結びつく活動ではない。 | YES・NO |
| 6 | 特定の宗教や思想、政治団体との特別な結びつきはない。 | YES・NO |
| 7 | 構成員を含め、反社会的勢力に該当しない団体・グループである。 | YES・NO |
| 8 | 地公体が主催する事業の開催や、地公体が主体となった運営ではない。 | YES・NO |
| 9 | 連盟や協会等に属する場合、事務局的な活動ではなく、自主的・創造的に活動している。 | YES・NO |
| 10 | 年間の活動計画や収支が明確で、組織として構成されている。 | YES・NO |
| 11 | 活動を次代へ継承していくための方策（後継者対策等）を講じている。 | YES・NO |

上記はあくまでも目安の一部です。ぜひ、お近くの伊予銀行へご相談ください。

なお、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お申込みに必要な書類

1. 地域文化活動助成 申請書 全4枚

団体設立経緯や活動内容等、申請書に記載する内容を記した資料がある場合は、それらのコピーを添付することで、記載の一部を省略することができます。

申請書(Word版・PDF版)は、当行ホームページからダウンロードも可能です。

2. 活動内容について掲載された資料がある場合はA4サイズのコピー

3. 対象物品の被災状況や、元の状態が分かる写真・映像など

4. 過去の活動状況を撮影した写真・映像など

※被災により上記資料が全て揃わない場合でも、ご申請いただけます。

【地域文化活動助成制度 事務局】

〒790-8514 松山市南堀端町1番地 伊予銀行 広報CSR室

TEL.(089)907-1011

E-Mail ^{ゼロ} iyo011n669wt@iyobank.co.jp

II. 普段の活動状況について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

<4-2>

1. 定例的な活動（催しやイベント出演等、定例的な活動）

2. 定期練習（会合）状況

① 期間： 月 日 から 月 日 まで もしくは 通 年

② 回数： 月 ・ 週 回 / 時 から 時 まで

③ 場 所：

④ 指導者： 職業または勤務先 氏 名

⑤ 練習・活動内容（参加率なども含めて具体的に）

3. 過去の活動状況（上記以外の主な活動，時期・場所・催事名など）

4. 活動の中で特長的な事柄や特色、アピールしておきたい点

※獅子舞など伝統芸能・創作芸能で演目がある場合は、名称・あらすじ・内容について

※独創的・地域独自と思われる事柄、見せ場や自慢できる点について

| |
|-------------------------------|
| 5. これまでに苦労した事・感動した事・印象深い出来事など |
| 6. 今後の目標など |
| 7. 後継者対策（会員獲得）のため実施していること |

Ⅲ. 助成を申請する物品について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

| |
|--|
| 1. 物品の名称・助成金使途（例: ○○○の新調） |
| 2. 次回使用予定時期 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 年 月 日（ ） ～ 年 月 日（ ） </div> |
| 3. 実施場所（会場や神社などがあればその名称） |
| 4. 本年度活動収支計画（ <u>本申請事業を含んだ年間の収支予想</u> をご記入下さい） |

| 収 入 | | 支 出 | |
|-----------------------|----------------|--------------------|----------------|
| 項 目 | 金 額 | 項 目 | 金 額 |
| 会員年会費(@ 円) | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合 計 (A) | | 合 計 (B) | |

不足額 = (A) - (B) = △ 円

| | |
|-----------|--|
| 5. 助成希望金額 | 万 円 ← |
|-----------|--|

6. 申請対象物について

※修理・新調する物品の現状や個数等について

7. 申請する活動・催物等について、特色（特に力を入れていること）があれば。

8. この制度を何でお知りになりましたか。